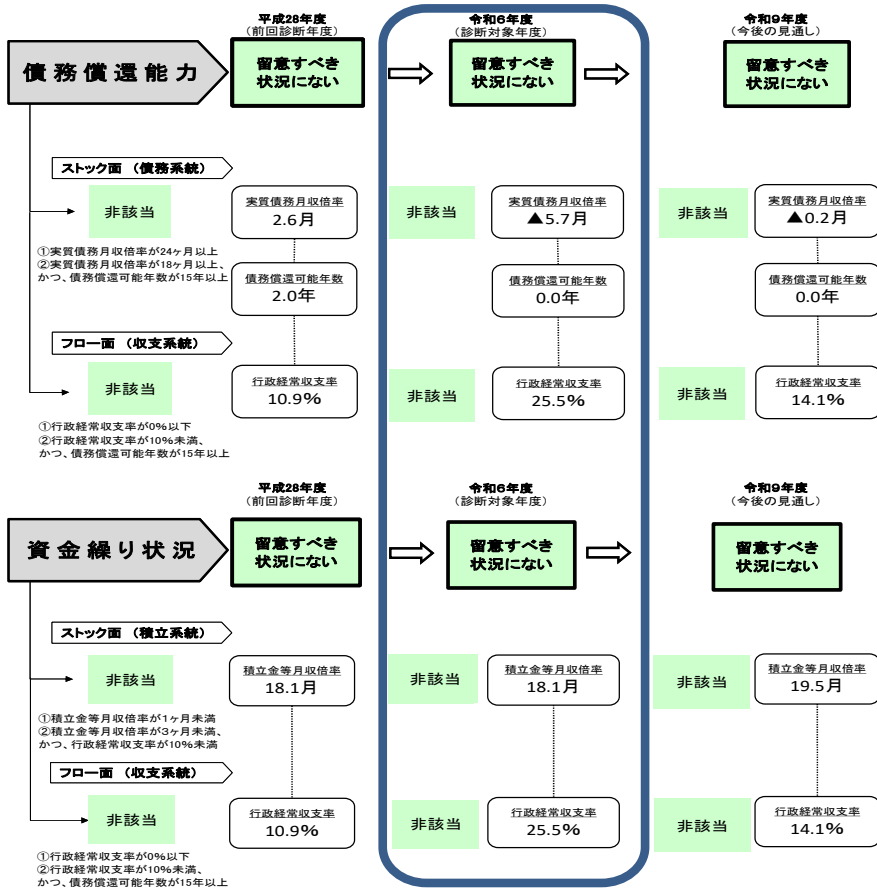


福智町 財務状況把握の結果概要<ポイント>

○診断結果

貴町においては、高齢率が高いことなどにより、(ふるさと納税寄附金、基金取崩しを除いた)自主財源割合は15.9%、うち地方税割合は8.9%と類似団体と比較しても特に低位にあり、地方税収不足分を地方交付税で補填している状況となっているものの、ふるさと納税寄附金が増加し、主要4指標は診断基準に該当しておらず、債務償還能力及び資金繰り状況ともに留意すべき状況にはない。

今後(令和9年度)の見通しについては、公共施設等総合管理計画に基づく事業等により、地方債現在高は増加見込みであり、その充当財源として、その他特定目的基金の取崩しなどにより、積立金等残高は70億円減少する見通しである。行政経常収支面では、ふるさと納税寄附金を保守的に計上していないため、収入は大きく減少し、支出についても、同寄附金の減少に連動した物件費の減少、民間委託による人件費抑制などにより、減少する見通しとなっており、この結果、行政経常収支率14.1%まで低下するものの、収支低水準の状況にはない。

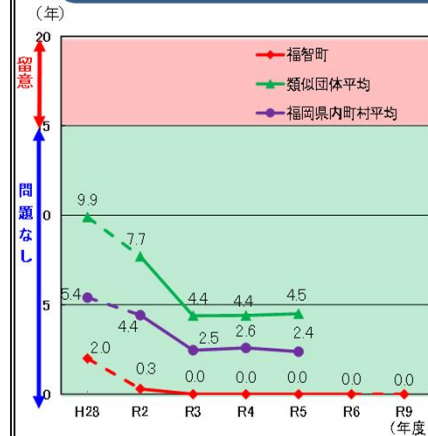


○財務指標の推移

債務償還可能年数

<意義>

1年間で生み出される償還原資で債務を返済するのに何年かかるか
 債務償還可能年数 = 実質債務 / 行政経常収支

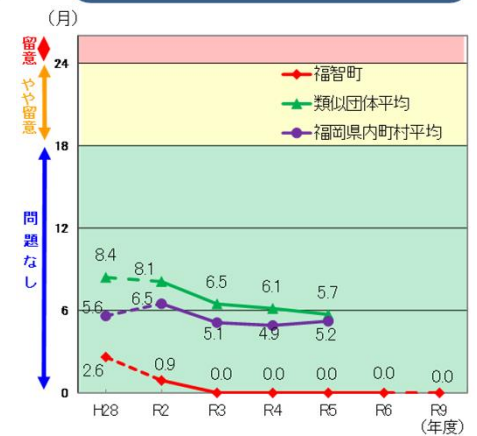


実質債務月収倍率

<意義>

債務が月収の何ヶ月分あるか

実質債務月収倍率 = 実質債務 / (行政経常収入 / 12)

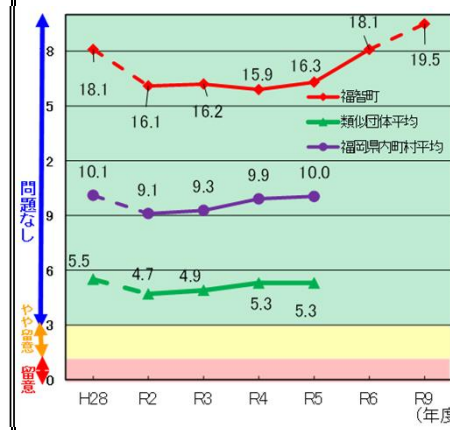


積立金等月収倍率

<意義>

積立金が月収の何ヶ月分あるか

積立金等月収倍率 = 積立金等 / (行政経常収入 / 12)



行政経常収支率

<意義>

収入からどの程度の償還原資を生み出しているか

行政経常収支率 = 行政経常収支 / 行政経常収入

